

# 天行健

No15

令和2年7月31日  
校長 早崎 保夫

## 1学期の終了にあたって

保護者の皆様におかれましては、この1学期、本校の教育活動に温かなご理解とご協力を頂きましたこと、心から感謝申し上げます。

しかし、今学期は、昨年度末の臨時休業に続き、全国への緊急事態宣言を受けて2度目の臨時休業が余儀なくされ、中体連大会を含め多くの学校行事を行うことができませんでした。1学期後半になり、ようやく部活動が再開され、ほぼ通常の授業が行えるようになったとはいえ、子どもたちにとって十分に調和のとれた教育活動が実践できたとは言えない状況です。この点を踏まえ、2学期以降、県内外の感染状況を注視しながら、教育活動のより一層の充実に努めて参ります。

保護者の皆様には、この1学期の間、

- 感染源を絶つための（毎朝の検温及び健康観察等）
- 感染経路を絶つための（マスクの準備、手洗いの励行等）
- 抵抗力を高めるための（食事や睡眠など、規則正しい家庭生活）

などの、感染予防対策にご協力いただき本当にありがとうございました。大変なご苦勞をおかけいたしましたが、引き続き2学期もご協力をお願いいたします。

また、今学期は年度初めの保護者会総会や学期末の授業参観も開催を控えさせていただいたため、保護者の皆様と十分な意思疎通を図ることができませんでした。この点につきましても、2学期以降改善に努めて参りますので、よろしく願いいたします。

併せて、5月下旬にもお知らせしたとおり、今年度は新型コロナウイルスによる臨時休業の影響を考慮し、評価を2期制とし、通知表につきましては10月中旬以降に配付予定としております。

裏面に続く

## 夏季休業中の子どもたちの交通事故ゼロを！

### ～中学生の交通事故の半数以上が自転車乗車中～

内閣府の「平成 30 年 交通安全白書」によると、平成 25～29 年の全国の中学生の交通事故による死傷者数の状況は、下のグラフでも分かるとおり、中学 1 年生は 11,587 件（1 年生の全交通事故の死傷者数の約 59%）、中学 2 年生は 10,419 件（約 58%）、中学校 3 年生では 9,322 件（約 57%）が自転車乗車中によるものでした。

このうち、この 5 年間で実に 20 名もの中学生の尊い命が、自転車乗車中の事故で失われています。

夏休みは、授業日に比べ自転車に乗る機会も格段に増えると思います。学校においてもあらゆる機会を通して子どもたちに指導を継続して参りましたが、ご家庭におかれましても、お子さんの自転車使用に際しては、どうぞ一声おかけくださいますようお願いいたします。

併せて、自転車運転者が加害者となるケースも散見されますのでご注意願います。

8 月 20 日（木）の 2 学期始業式にはまた、元気にお子さんを登校させてください。

中学生状態別死傷者数（平成25～29年の合計）

